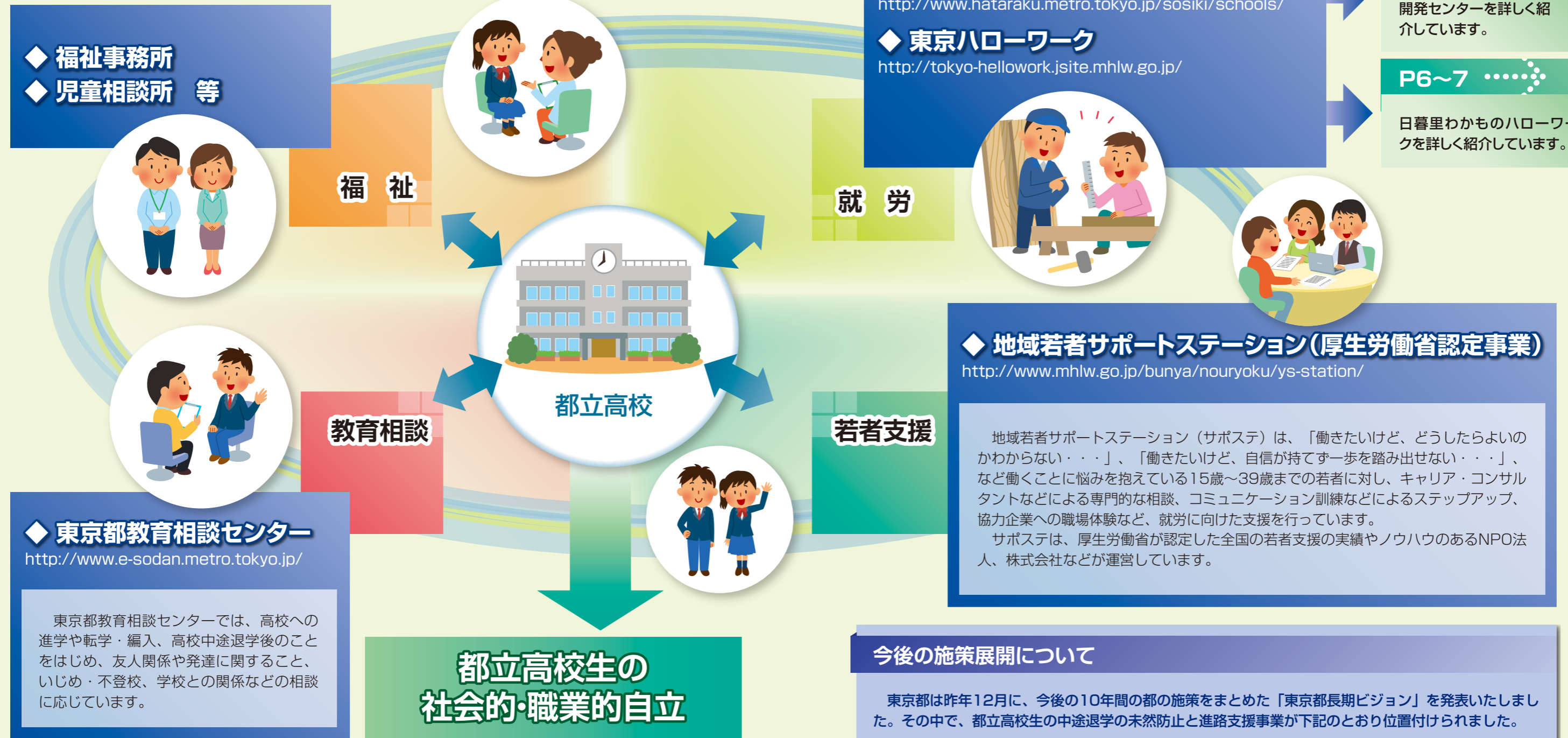


都立高校生の進路を支援する地域ネットワーク



東京都教育委員会では、都立高校が若者支援団体等との連携を図ることを通じて中途退学者や進路未決定のまま卒業する生徒を減少させていくとともに、中途退学者や進路未決定卒業生に対しても進路(就職等)を決定することができるように必要な支援を行うなど「切れ目のない」進路支援体制づくりに取り組んでいます。

その取組の一環として、モデル事業を実施している2地区(区部1地区、市部1地区)において、都立高校、ハローワーク、都立職業能力開発センター、自治体、地域若者サポートステーション、若者就労支援団体等を構成員とする「都立高校生進路支援連絡協議会」を設置し、地域の支援ネットワークによる包括的・多角的な都立高校生への支援のあり方を検討しています。

今後の施策展開について

東京都は昨年12月に、今後の10年間の都の施策をまとめた「東京都長期ビジョン」を発表いたしました。その中で、都立高校生の中途退学の未然防止と進路支援事業が下記のとおり位置付けられました。

■都市戦略6 世界をリードするグローバル都市の実現
 ■政策指針17 若者や高齢者など全ての人が活躍できる社会の実現

【中途退学等の未然防止と進路支援】

- 中途退学者をより一層減少させるため、各都立高校が目標を定めて組織的・計画的に中途退学防止に取り組む学校づくりを進める。
- ユースアドバイザーや進路指導支援員からなる進路指導支援チームを都立高校に派遣し、学校の取組を支援する。
- 不本意ながら都立高校を中途退学した生徒や進路が未決定の卒業生に対し、進路指導支援チームによる在学中からの継続的な切れ目のない支援をハローワーク等の関係機関とも連携して行い、将来の社会的・職業的自立につなげる。

http://www.seisakukikaku.metro.tokyo.jp/tokyo_vision/vision_index/